



たかね

まちづくり通信

第3号

平成25年1月15日発行

互いに支え合って固有の自然や歴史文化を守り、暮らしやすい地域環境をつくる。



郷土料理で交流

(開発交流部)

11月18日(日)、高根区民会館で「郷土料理を味わう会」を行いました。

メニューは、高根・中原・岩沢集落の大海、関口集落のやまもちなど地域に伝わる料理や地域産の食材を使った料理で、漬物、デザートも含めると全部で10品が並びました。協力員のかあちゃん方には、当日の料理はもちろんのこと、打ち合わせ会議や食器・食材の準備、買い出し等たくさんのご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

参加者は、高根フロンティアクラブの鈴木信之さんから地域おこし活動の話聞いた後、料理を食べながら地域の食について語り合いました。初めての事業で、反省点も多く、アンケートや協力員の意見等を踏まえながら、来年度へつなげていきたいと考えています。(文：鈴木めぐみ)

専門部の活動紹介

環境安全部です！

11月4日(日)、高根地域の玄関口にあたる岩沢橋手前の県道沿い約30mにスイセンの球根を植えました。岩沢集落の区長さんや有志の皆さんの協力を得ながら、これまで2回ほど草刈りや畝作りを行い準備を進めてきました。3回目の作業ですっかり打ち解けたメンバーは、来春にはきれいな花が咲くように祈りながら、楽しくおしゃべりしながら球根を植えました。「来年は、もっと早くから準備してこどもや保護者の方、おじいちゃん、おばあちゃんも誘って植えたいねえ。」とみんなの意見が一致しました。(文：斎藤厚子)



11月10日関口福寿会の皆さんとパテリ！



11月4日岩沢集落球根植え作業

6月の薦川集落花植えおじゃま隊に続く第2弾として、関口集落福寿会の皆さんと球根植えを行いました。当日は小雨が降る中、スイセンとチューリップの球根を旧関口診療所の花壇と関口から早稲田へ行く県道沿いに植えました。このまま植えっぱなしの状態、春にちゃんと花が咲くのか少し不安に思いましたが、花育ての達人方から「心配ねえ〜春にはちゃんと花さぐ。」と言われ、ほっ！としました。いつになく春の開花が待ち遠しいです。

(文：岩沢和英)



お宝再発見実行委員会です！

10月13日(土)、2回目のたかねまちあるき大作戦を行いました。前回同様26名が参加し、黒田・朝日中野集落を3コースに分け、約1時間半の散策を楽しみました。

昼食には、関口集落のやまもちが登場し、しばし、郷土料理談義に花が咲きました。

午後からはお決まりのワークショップ。参加者の皆さんはずいぶん慣れた様子で、地図を書き、写真を貼り、意見を集約していました。黒田集落では、「歴史絵巻が残る黒田！ちょっと散歩してみませんか」、朝日中野集落では、「開拓の変遷が残るパノラマ」というタイトルが出来上がりました。

来年度は、中原集落・薦川集落・岩沢集落をまちあるきする予定です。皆様の参加をお待ちしています。(文：和田壽久)



黒田集落諏訪神社へつづく石段



朝日中野集落まちあるきスタート



昼食は委員手作りのやまもち



ワークショップの成果

地域振興部です！

地域振興部では、鳥獣出没被害状況調査報告書（7月～11月）を高根地域の集落区長さんから提出してもらいました。その報告書を基に集落ごとの出没被害状況を地図に落とし込み、出没場所や被害場所を明確にする作業を行っています。その後、区長さんに聞き取りを行い、各集落における取り組みをまとめる予定です。ただ、これまでの部会（5回開催）の中で、鳥獣被害対策はまちづくり協議会で出来ることかどうか議論されてきました。これについては、調査報告書作成に止めるべきでは!?という声も上がっています。本来の地域振興とは、もう少しワクワクするようなこと。子どもからおとなまで楽しめるようなことではないかと…来年度は新たな事業展開が必要になると思っています。（文：本間健二）

健康福祉部です！

我々は、『あいさつ』をとおして、みんな元気で安心して暮らせる地域を目指そうと“笑顔であいさつ運動”を展開しています。

まずは、あいさつをおとなの側からどんどん発信しているというコンセプトのもと、朝日みどり小学校の理解と協力を得て、10月20日（土）同校作品展で「あいさつ運動のコーナー」を設けました。そこで、集まった子どもたちや保護者、地域の皆さんと元気いっぱいの気持ち良いあいさつを交わして、あいさつ運動のチラシとポケットティッシュの配布を行いました。来年は、夏休みのラジオ体操を活かしたあいさつ運動を展開し、集落の中で子ども



とおとなが顔見知りになる機会をつくっていきたいと考えています。

また、地域の茶の間立ち上げ事業については、12月に中原集落が立ち上がりました。黒田集落も立ち上げに向けて準備を進めているところです。（文：鈴木雅世志）

集落から、 こんにちは！

北大平地域の茶の間

こんにちは！北大平地域の茶の間です。我が集落の茶の間は、区長、民生委員、老人クラブが中心となり組織されています。活動は、5月・10月・1月を除く毎月1日に集落センターや神社の掃除などを行い、そのあと集落センターでお茶を飲みながらみんなで話をしています。今年は、12月と2月の2回愛ランドあさひから講師をお願いし、冬場の健康づくりに取り組んでいます。（文：岩沢深雪）



12月3日北大平地域の茶の間の様子

関口活性化委員会

関口活性化委員会は平成16年に設立、区長を委員長として、10名の委員がボランティア活動に従事しています。

主な活動内容は、戦国時代の山城であった荒城山の遊歩道の整備、旧朝日村時代に名木百選であった寺田の桜並木の草刈り、桜の植樹です。今年の親睦旅行では、世界遺産の中尊寺を見学し、その後、陸前高田市を訪問。関口の柿を届けました。会員は活動を通して地域の活性化と会員同士の親睦を楽しみにしていますが、委員の高齢化がすすんでおり、若い会員の入会が望まれているところ。 （文：海沼順一）



委員による荒城山遊歩道整備の様子

協議会からのお知らせ

標語・ポスター募集します

◆たかねまちづくり協議会では「支え合いを大切にして、みんなが元気で安心して暮らせる仕組みをつくる。」ために、笑顔であいさつ運動を展開していきます。

この運動の啓発を図るための標語・ポスターを募集します。(小学生は朝日みどり小学校にお願いしてあります。)

◆応募用紙

朝日支所2階 地域振興課
にあります。

◆応募締切

平成25年2月28日(木)

◆入選

大賞(各部門ごと) 1点
佳作(各部門ごと) 5点

◆その他

詳しくは、たかねまちづくり協議会事務局(☎七二・六八八〇)へお問い合わせください。

3地域茶の間交流会

◆日時 平成25年3月14日(木)
午前9時30分～

◆場所 高根区民会館

◆高根、黒田、中原3集落の茶の間が交流会を開催します。詳しい内容は後日、各茶の間代表者から該当者に連絡します。

◆みんなでつくるコーナーを設けました。お薦めの絵本・思い出の絵本、たかね地域の好きな風景をお聞かせください。取材に伺います。

絵本

心に残る一冊!

私の心に残る絵本は「しあわせの王子」です。初めてこどもの親になった時、こどもには昔から伝えられてきたお話は知っておいてもらいたいなあと思い、童話全集を買いました。「しあわせの王子」はその中の一冊でしたが、寝る前に読み聞かせているうち、お気に入りになり何回もせがまれ読んであげました。王子とつばめの優しい心にふれるたび、毎回涙を流しながら読んでいました。

童話ですが、人の世の大切なものを教えてくれた1冊です。(文：遠山美子)



～私no好きな風景～たかね地域

中野神社の登り口から見えるため池。その向こうに見えるのは鷲ヶ巣山。10月13日(土)のたかねまちあるき大作戦で皆さんに紹介した場所です。我々、朝日中野集落住民はこどもの頃から見慣れてきた風景ですが、まちあるきに参加した皆さんからは、「開拓の歴史が感じられる素晴らしい風景」と感嘆の声が聞かれました。実をいうと私も年を重ねる毎に、何とも言えない落ち着く場所と感じるようになってきました。静かすぎるほど静かで、一時のやすらぎを与えてくれる場所です。まちあるきの成果をこれからの地域づくりに活かしていけたらいいなと感じています。(文：宮村安二)



編集後記

あけましておめでとうございます。たかねまちづくり協議会が初めて計画した各事業もほぼ実行に漕ぎ着けました。地域の方を巻き込んだイベントを開催したり、まずは役員から行動を起そうと活動したり、様々な展開がありました。その中で、感じたのは、まだまだ、「たかねまちづくり協議会」の知名度が低く、参加者が少ないこと。そこで、この情報紙を多くの方へ届けて、より多くの方へ期待していただくことを期待してまいります。(岩沢和英)

発行：たかねまちづくり協議会
編集：まちづくり通信編集担当
連絡先

朝日支所地域振興課 自治振興室

Tel72-6880 Fax72-6403

E-mail

as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp